

# ■鋼製束調整方法

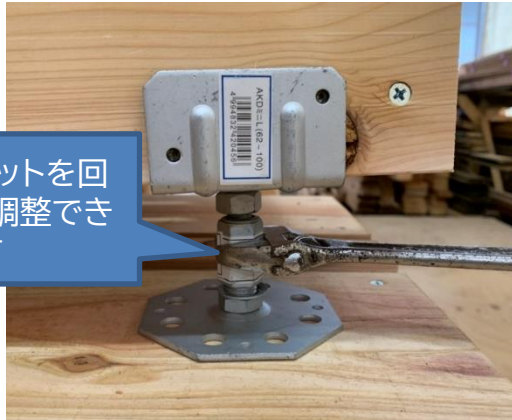
※水平器とモンキーレンチ(スパナ19)を準備してください

鋼製束の調整可能範囲は約5cmです。地面はできるだけ平坦に均しておきましょう。

🔧 まずは薪を全て下ろしましょう。

一番高いところを基準にして、他をその高さに調整します。  
(下のナットを回して高さを調整)

真ん中のナットを回すと高さが調整できます



・薪を入れると重量で地面が沈下し、再度レベル調整が必要となります。まずはおおよそ平ら、という状態で構いません。

・鋼製束の調整可能範囲は約5CMです。調整可能範囲を超える場合は束石(ブロック)の厚みで調整してください。

## ■ヒント

地面が柔らかい場合は、沈みこみ防止のため、出来るだけ大きい束石(ブロック)を敷いてください。束石(ブロック)の下の土を10cmほど掘り、砂利と置き換えると、地面が強くなります。車のジャッキを使うとスムーズに作業が行えます。

このナットを下方方向に回し、締め込んでください。



🔧 薪を積み終わったら、再度レベル調整をして、レベルフットの上側と下側のナットを真ん中のナットに向かってしっかり締めてください。

水平器の気泡がおおむね中央に来るようにレベル調整しましょう。薪を入れるとまた狂いますので、ほどほどに…。



このナットを上方向に回し、締め込んでください。



**レベル調整完了!**